



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月29日

上場会社名 小林製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	115,768	7.5	19,563	14.1	20,587	21.2	14,009	19.3
29年12月期第3四半期	107,653		17,149		16,992		11,740	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 15,733百万円 (19.2%) 29年12月期第3四半期 13,196百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	177.29	177.19
29年12月期第3四半期	149.08	148.86

(注) 当社は、平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成29年12月期第3四半期と比較対象となる平成28年12月期第3四半期の期間が異なるため、平成29年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	224,818	165,080	73.4	2,087.71
29年12月期	218,831	153,811	70.3	1,947.82

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 165,080百万円 29年12月期 153,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		28.00		30.00	58.00
30年12月期		31.00			
30年12月期(予想)				30.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	4.0	23,700	3.4	24,800	2.5	17,000	7.2	215.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規:2社 (社名) 小林製菓(中国)有限公司、江蘇小林製菓有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	82,050,000 株	29年12月期	82,050,000 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	2,977,337 株	29年12月期	3,102,937 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	79,020,484 株	29年12月期3Q	78,757,102 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料 P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による景気対策の継続などにより企業収益や雇用の改善など回復基調が見られ、個人消費についても緩やかな回復基調が見られます。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や、既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は115,768百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は19,563百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益は20,587百万円（前年同期比21.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,009百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりです。

国内家庭用品製造販売事業

当事業では、より効果感の高いEX処方黒ずんだひじ・ひざのザラザラ治療薬「クロキュアEX」や、毛穴が目立つポツポツ肌治療薬「ケアノキュア」、上品フェミニンな香りとデザインの内インテリアフレグランス「Sawaday PINKPINK STICK」、きらめくクリスタルボトルと最上級の香水調の香りの水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット Premium パフューム」、コスメチックのような華やかな香りの芳香消臭剤「お部屋の消臭元 プリンセスパルファム」など春に10品、秋に15品の新製品を発売し、売上に貢献しました。

既存品のヘルスケアでは角膜修復・保護成分を配合した薬液で目の汚れやホコリを洗い流す「アイボン」や肥満症改善薬「ナイシトール」、歯槽膿漏予防ハミガキ「生薬」、舌下錠タイプのいぼ痔治療薬「ヘモリンド」など、日用品ではクルマ用芳香剤「Sawaday クルマ専用クリップ パルファム」や鼻呼吸を促すテープ「ナイトミン 鼻呼吸テープ」など、スキンケアではニキビ・肌あれ予防の薬用ローション「オードムーゲ」などが好調に推移しました。

その結果、売上高は95,632百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益（経常利益）は18,001百万円（前年同期比12.2%増）となりました。営業利益は18,015百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では4,827百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	42,292	44,595	2,303	5.4
日用品	37,378	39,217	1,838	4.9
スキンケア	4,346	4,629	282	6.5
カイロ	1,768	2,361	593	33.5
合計	85,786	90,805	5,018	5.8

海外家庭用品製造販売事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

その結果、売上高は17,394百万円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益（経常利益）は677百万円（前年同期比73.0%増）となりました。営業利益は770百万円（前年同期比64.7%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では790百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	4,688	5,036	347	7.4
中国	4,146	6,241	2,094	50.5
東南アジア	3,055	3,304	248	8.1
その他	1,611	2,021	409	25.4
合計	13,503	16,604	3,101	23.0

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は7,508百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益（経常利益）は194百万円（前年同四半期はセグメント損失（経常損失）109百万円）となりました。営業利益は189百万円（前年同四半期は営業損失111百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,892百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益（経常利益）は2,163百万円（前年同期比111.0%増）となりました。営業利益は456百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では4,040百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ5,987百万円増加し、224,818百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（1,897百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1,025百万円）、商品及び製品の増加（3,860百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（643百万円）、機械装置及び運搬具の増加（409百万円）、のれんの増加（649百万円）、投資有価証券の増加（3,030百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,282百万円減少し、59,737百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（1,323百万円）、未払金の減少（3,800百万円）、未払法人税等の減少（1,502百万円）、賞与引当金の減少（1,066百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11,269百万円増加し、165,080百万円となり、自己資本比率は73.4%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（9,085百万円）、自己株式の減少（496百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（1,624百万円）等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月2日付け公表の「平成29年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,990	63,093
受取手形及び売掛金	50,032	49,006
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	9,789	13,649
仕掛品	693	1,059
原材料及び貯蔵品	2,807	3,450
繰延税金資産	3,221	3,404
その他	2,547	2,318
貸倒引当金	△34	△32
流動資産合計	142,346	144,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,212	7,987
機械装置及び運搬具(純額)	3,985	4,394
工具、器具及び備品(純額)	1,337	1,391
土地	3,576	3,627
リース資産(純額)	573	529
建設仮勘定	562	677
有形固定資産合計	18,247	18,607
無形固定資産		
のれん	2,626	3,275
商標権	410	369
ソフトウェア	906	887
その他	855	896
無形固定資産合計	4,798	5,429
投資その他の資産		
投資有価証券	46,797	49,827
長期貸付金	261	341
繰延税金資産	539	536
投資不動産(純額)	2,981	2,963
その他	3,243	3,315
貸倒引当金	△384	△454
投資その他の資産合計	53,438	56,530
固定資産合計	76,484	80,567
資産合計	218,831	224,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,279	9,602
電子記録債務	9,221	8,362
短期借入金	194	294
未払金	24,446	20,646
リース債務	55	53
未払法人税等	4,654	3,152
未払消費税等	1,245	937
返品調整引当金	1,793	1,240
賞与引当金	2,250	1,183
資産除去債務	38	42
その他	2,095	2,990
流動負債合計	54,274	48,507
固定負債		
リース債務	527	487
繰延税金負債	5,224	5,855
退職給付に係る負債	2,805	2,723
役員退職慰労引当金	37	37
資産除去債務	81	77
その他	2,068	2,048
固定負債合計	10,744	11,229
負債合計	65,019	59,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	146,758	155,843
自己株式	△12,259	△11,763
株主資本合計	142,132	151,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,267	14,892
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	403	300
退職給付に係る調整累計額	△2,038	△1,830
その他の包括利益累計額合計	11,642	13,366
新株予約権	36	—
純資産合計	153,811	165,080
負債純資産合計	218,831	224,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	107,653	115,768
売上原価	40,103	42,584
売上総利益	67,549	73,184
販売費及び一般管理費	50,399	53,621
営業利益	17,149	19,563
営業外収益		
受取利息	192	202
受取配当金	198	222
不動産賃貸料	222	219
受取補償金	—	1,200
その他	219	170
営業外収益合計	832	2,015
営業外費用		
支払利息	16	19
売上割引	485	492
不動産賃貸原価	62	56
為替差損	180	203
その他	244	218
営業外費用合計	990	991
経常利益	16,992	20,587
特別利益		
固定資産売却益	0	1
新株予約権戻入益	—	5
その他	3	0
特別利益合計	4	7
特別損失		
固定資産除売却損	57	62
減損損失	333	765
その他	72	2
特別損失合計	463	830
税金等調整前四半期純利益	16,533	19,763
法人税、住民税及び事業税	5,832	6,121
法人税等調整額	△1,040	△367
法人税等合計	4,792	5,754
四半期純利益	11,740	14,009
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,740	14,009

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	11,740	14,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	1,624
繰延ヘッジ損益	△25	△4
為替換算調整勘定	△412	△103
退職給付に係る調整額	210	207
その他の包括利益合計	1,455	1,724
四半期包括利益	13,196	15,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,196	15,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,786	13,503	7,448	106,738	914	107,653	—	107,653
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,542	829	—	5,371	3,874	9,246	△9,246	—
計	90,329	14,332	7,448	112,110	4,789	116,899	△9,246	107,653
セグメント利益又は損失 (△)	16,039	391	△109	16,321	1,025	17,346	△353	16,992

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△353百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となった該当事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、333百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて、減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては、227百万円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	90,805	16,604	7,508	114,917	851	115,768	—	115,768
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,827	790	—	5,618	4,040	9,659	△9,659	—
計	95,632	17,394	7,508	120,535	4,892	125,428	△9,659	115,768
セグメント利益	18,001	677	194	18,873	2,163	21,036	△449	20,587

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△449百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて減損損失を計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、760百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、のれんを減損しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては、760百万円であります。

また、同セグメントにおいて、小林製薬(中国)有限公司が江蘇小林製薬有限公司の全持分を取得したことに伴い、のれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,751百万円であります。

なお、のれんは、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。